

地域医療薬局学講座セミナー

第15回 訪問看護師と薬剤師の連携について

在宅療養中の患者さんは様々な問題点を抱えています。支援の対象者が高齢である、本人や家族に認知力の低下がある、複数受診し薬が重複しているかわからない、介護力に問題があるなど個々のケースで様々です。患者さんの生活を支える視点から、訪問看護師との連携を考え、実践を目指します。

<セミナー内容>

- ①訪問看護師の業務紹介及び課題としていること
- ②訪問看護師が薬剤師に期待すること
- ③グループワーク

数名ずつのグループを作り、いかに連携して患者様の健康維持を実現するかの事例検討ディスカッション。

座長：鍋島 俊隆(名城大学薬学部 地域医療薬局学講座 特任教授
NPO法人 医薬品適正使用推進機構 理事長)
講師：加藤容子先生(愛知県訪問看護ステーション管理者協議会会長)

日時：平成25年7月28日(日)
14:00~17:00
(受付13:30~)

会場：名城大学八事キャンパス6号館
4F「情報メディア教室」

※公共交通機関でお越し下さい。

セミナー参加費用 **無料**

薬剤師の方には(財)日本薬剤師研修センターの研修受講シール2単位を授与致します。



お申し込みは、地域医療薬局学講座ホームページ「セミナー案内」から

<http://www.ccp-koza-meijo-u.jp/seminar>

地域医療薬局学

検索

問い合わせ先：名城大学薬学部 地域医療薬局学講座

TEL：052-839-2756

主催：名城大学薬学部 地域医療薬局学講座
共催：NPO法人 医薬品適正使用推進機構